

## 丹沢：葛葉川本谷

- ◆日程 2018年9月1日(土)
- ◆メンバー L：岡村、前田、西山
- ◆天候 曇りときどき晴れ

ザイル祭に向けた山行、沢の部に参加しました。岡村さんからの初心者向け沢、という案内メールで迷わず参加を決めた。原生林の2018年6月号で報告されていた「楽しさのみの沢登りであった」に期待は高まっていく。

渋沢駅に7時集合、前田号で移動。雨に降られるかも、いずれにせよ沢でぬれるし、たまには降られておかないと予期せず降られたときにショックが大きい、などいろいろ考えつつ葛葉の泉に到着、駐車場で沢装備をしてすぐに入渓。

しばらくは幅も狭く鬱蒼とした感じで緊張がたまっていたが、徐々に気持ちが解放されてきた。リーダーの後をついていっていると「ラインは自由だからね」といわれ、自分で考えていく。滝の前に立ってじっと眺め、ここここが登れそう、どっちが楽しいかなあ面白いかなあと考えるのは本当に幸せだった。滝が現れるたびにきれいだなあ、たのしいなあ、うれしいなあ。わたしがやりたかったの、これだったんだな～と感じていた。

1週間前の岩トレでの岡村さんからのアドバイスで「どの程度の突起であれば足を載せて上に行けるか」を意識した結果、意外とできるとわかったのも収穫だった。前田さんは敢えて切り立ったところに挑戦していた。

富士形ノ滝では高巻いて上ったあと、懸垂下降、さらに確保してもらってクラックを登る、下から来る前田さんをビレイ(の必要はないのですが)。トレーニングからの短いスパンでの実地訓練ができ、これを繰り返して体にしみこませたいと思う。こんな素晴らしいところなのに沢にいる間じゅう、前にも後ろにも人はいなかった。

いまどこにいるか、どこからツメるかというところで地図が読めないことがよくわかり、机上講習に地図読み山行と、次の短期課題にもなった。

三ノ塔尾根へ向かう滑る斜面に、案内のメールにあった「沢のツメってこんな感じかあ」を何度も実感しつつ、登山道に出られて沢装備解除した時にはほっとした。

夜間歩行訓練に向けて三ノ塔の小屋とトイレの偵察。ガスっていたが、待っている間に足柄の街並みから江の島まで展望、富士山も顔を出した。秋の夜景が楽しみである。

下りの林道で最後の休憩をとっている際に「次は勘七にいこう」と岡村L。ぜひ行きたい。沢の楽しみを教えてくれた岡村さん、前田さん、ありがとうございました。

降りて参加したザイル祭では、気づいたら昨年の火の神篠原さんに今年の火の神にされていた。ご挨拶できなかった方もいましてすみません。これからどうぞよろしくお願ひします。

(記:西山)



CT：葛葉の泉 7:40 - 大平橋下 9:10 - 富士形の滝(岩トレ) 9:40/10:20  
 - 沢の終了点 11:00 - 稜線 11:30/12:00 - 三ノ塔 12:10/12:30  
 - 二ノ塔 12:45 - 葛葉の泉 14:00